

スタッフルーム
Staff room

夢の旅行プラン

いながき ゆい か
稲垣 侑華

(三田メディアセンター)

先日、大学時代の友人とたまたま目に留まったとある居酒屋にふらりと入った。そこは土佐料理をメインに出すお店で、特に薫焼きで作ったカツオのたたきがおすすめとのことだった。そういうことならば、と早速カツオのたたきを頼み、食べてみたところ、あまりの美味しさに驚いた（あくまでも私の個人的な感想である）。もちろん、カツオのたたきだけでなく、他の土佐料理もとても美味しかった。どうやら友人も同じように感じたらしく、料理をつつきながらどちらからともなくこんな提案が持ち上がった。「そうだ、高知に行こう！」

高知へ行くと決めたからには、日程や宿泊場所など、多くのことを決めなければならない。恥ずかしながらこれまで、旅行の際は家族や旅行好きな友人が全て計画・手配してくれていたのだが、今回行こうとしているのはまったく旅慣れていない私と友人の2人。旅慣れている人がいないことに若干の不安を感じつつも、旅行雑誌やインターネットやテレビの旅番組などから得られる情報をもとに少しずつ計画を立てていった。

旅行計画を立てる中でも、特に悩んだのが、高知でどこをどう巡るのかということだった。高知に行くきっかけとなった、本場のカツオのたたきを食べるということが一番の目的ではあるのだが、私も友人も高知へ行くのが今回初めてなので、定番の観光地には行っておきたい思いもある。また、せっかく本場へ行くのならカツオのたたきを実際に作る体験もしてみたいなど、行きたい場所、やりたいことが多すぎるあまり、効率の良い回り方など計画がうまく立てられず、一時期旅行そのものが頓挫しかけた。

そんな時、私と友人が愛聴しているラジオ番組で、高知の話が出た。どうやら番組の企画の一環で（ラジオ番組なのに）高知へロケに行ったらしい。良いタイミングだと思いつつ聞いていると、高知城などの定番の観光地はもちろん素晴らしかったが、何よりも仁淀川が一番きれいで感動した、という話をしていて。さらに聞

いていると、薫焼きでカツオのたたきを作る体験もしたとのことだった。放送を聞いているうちに、このラジオ番組のロケ企画が私たちの行きたい場所のほとんどを回っていることに気がついた。

この放送後、改めてこの高知旅行について話をした私と友人は新たな目的の一つ加えることにした。ラジオ番組が企画してロケした地を回れるだけ回る、いわゆる「聖地巡礼」をすることである。この目的ができて以降、一番頭を悩ませていた高知での観光場所や巡る順番もあっという間に決まっていた。

また、余談ではあるが、今年（2018年）は明治維新から150年の年らしい。明治維新の舞台となった鹿児島県や山口県だけでなく、薩長同盟の仲介役となった坂本龍馬の出身地である高知県も県を挙げて明治維新150年を記念した事業を行っているようである。私自身、歴史に精通しているわけでも、最近流行している歴史好きな女子（歴史好きな女子）でもないが、このタイミングの良さになにか運命的なものを感じ、明治維新についてとても興味が湧いたので思わずいろいろ調べてしまった。聖地巡礼の合間にこの記念事業も少し覗いてみようと思っている。

振り返ってみると、今回は普段よりも旅行に関する情報のアンテナを無意識に大きく張っていたように思う。これまでも旅行は楽しく行っていたのだが、今回は自分で調べたこともあっていつもより楽しみが倍増したように感じた。

最後に、ここまで高知旅行についていろいろ書いてきたものの、友人との日程調整の都合や宿の予約の関係で、実はすべてまだ計画段階である。しかし、近いうちに行ける…はずなので、今はただひたすら、好きなラジオ番組のロケ地巡りを楽しみつつ、明治維新150年の歴史の流れを感じる旅を目指して、「旅の楽しみの8割」と言われている旅行計画をさらに綿密に立てながら、この旅行が実現する日を心待ちにしている今日この頃である。